

進路見据え「構え」つくれ！

アカデミックスキルⅠ
「基調講義」を終えて

河瀬晴夫 事務局長

昨年度から1年生対象の「アカデミックスキルⅠ」の授業を各学科1コマずつ担当しています。私に課された命題は、「自己を知り、自己を高める」というテーマで、高校までの学習とは異なる「大学生の学修マインド」について事例を取り入れながら学生に伝えるということです。

授業は3部で構成し、まずは大学の学修について考え、3つの構え（身構え・気構え・心構え）を創ることを投げかけます。次に4綱領と学部・学科のディプロマポリシーを演習形式でチェックし、卒業時の自分を意識した大学生活が送れるように導きます。最後に3つのポリシーのその先にある将来像を深化させるために自分自身に対する宣言文を書き、それを学生同士で共有することで各人の決意を強めてもらいます。

授業後のアンケート調査の結果、授業内容の理解、話の聞きやすさ、資料の見やすさ等6つの項目すべてにおいて満足度は高く、肯定的な回答が97～100%という結果でした。学生の感想を読ませてもらうと、授業の途中で挿入したちょっと一息のコーナーや、プラスαの意味合いで伝えた言葉に反応してくれた学生も多く、多様な学生を惹きつけるためには多様なメッセージを授業の中に散りばめることも大切だということを感じました。

今回私が伝えた数々のメッセージのうち、学生の皆さんの心に刺さった言葉を糧として、大学4年間の自身の成長に役立ててもらうことを願っています。

自分への宣言文で決意強める

初年次生を対象とした必修科目「アカデミックスキルⅠ」では、学びへの「構え」をつくり、将来の進路を明確に意識してもらおうと、「基調講義」と銘打った授業を取り入れています。昨年度に続

き本年度も河瀬晴夫事務局長と久保田憲寿入試・広報課長（当時、就職・実習支援課長）が1年生を前に熱く語りました。講義を終えた2人に、伝えたかった事、学生の反応などを聞きました。

「伝える」
具体的手法を伝授

久保田憲寿 入試・広報課長

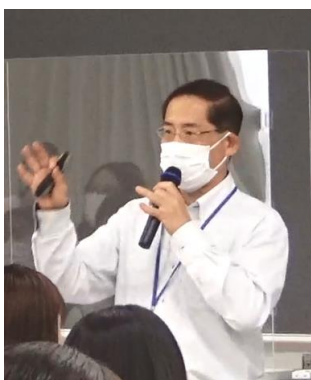
5月に第5回アカデミックスキルⅠの講義を担当いたしました。今回は「伝える力」をテーマに、まずはその必要性和具体的手法を学んでいただき、次にグループワークを通して学びを実践していただきました。

先日、この講義に関する思いや、その後の取り組みを記したお手紙を1年生全員より受け取りました。そして、一つひとつ拝読いたしました。全てに共通していたことは、今回の学びを次に生かそうと捉えていただいたことです。

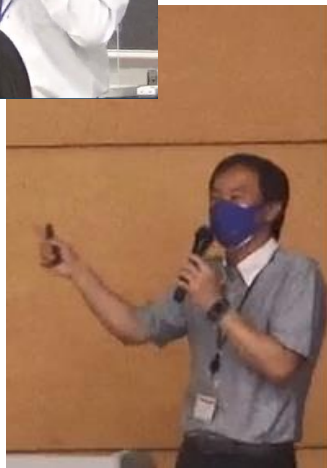
「既に実践しています」、「就職活動までに身につけます」、「アルバイトの面接時に役立ちました」などの思いがつつられており、今年の1年生は「良いと思ったことはやってみよう気質」という言葉が相応しいと感じました。

今回講義を受講した皆さんは、2年後には就職活動が始まります。履歴書、小論文、面接などは必ず文字や会話で相手に伝えなければなりません。その時期になって慌てて取り繕っても熟練の人事担当者の目は誤魔化せません。日ごろから意識して積み重ねることで、自分の力となり、自然ににじみ出てくるものです。そして、今から心がけることで学外実習や課外活動にも生きてきます。今感じている前向きな気持ちを大切に、ぜひ学びを実践していただくことを期待しています。

今後の皆さんのご活躍を祈念いたします。



「3つの構え」
について話す
河瀬局長



「伝える力」の
必要性を説いた
久保田課長

水上村で子育て支援事業に着手

健康・スポーツ
教育研究センター

健康・スポーツ教育研究センターは、本学と水上村が締結した包括連携協定に基づき、同村における子育て支援事業を6月に始めました。当面は、月1回ペースで同村内の保育園を訪れ、運動感覚遊び等の指導や現場の保育士の相談に乗りながら、具体的な支援策を探ることにしています。

事業のスタートとなった6月8日（水）は、同村岩野の岩野保育園で月1回行われている運動教室（3～5歳児対象）に筆者が参加しました。公立多良木病院検診センター（多良木町）のパーソナルトレーナーや、保育士、保健師の皆さんと26人の子どもたちを相手に、全身を使って筋力・バランス能力を引き出す運動あそびを指導。また、自閉症スペクトラム障害を持つ園児に直接かわりながら、接し方のコツや要求の引き出し方、遊び方、コミュニケーションの取り方などを実演するなど、保育士の皆さんへの個別指導や相談支援

を行いました。

次回は7月21日（木）の予定で、現地で感覚運動あそびの指導、保育士からの療育相談等を行います。

（健康・スポーツ教育研究センター 益満美寿）



運動教室で平均台を使って
バランス感覚を養う運動を
楽しむ園児たち

どこにある？ 公衆電話

公衆電話が街角から姿を消しつつあります。携帯電話の急速な普及で、利用が激減したことが理由です。若い人の中には、公衆電話のかけ方さえ知らないという人もいます。まさに、「風前のともしび」といったところですが、一方で、災害や緊急時の通信手段としてなくてはならない存在でもあります。

2日未明から3日間に及んだKDDI（au）の大規模な通信障害。データ通信や音声通話ができずに困った人もいたのではないのでしょうか。この間、行政やKDDIが呼びかけたのが、固定電話や公衆電話の使用でした。本学には1号館会議室前、図書館入り口、アリーナの3カ所に公衆電話が設置されています。いずれも、グレー。緊急通報ボタンはついていませんが、110番（警察）、119（消防・救急）、118（海上保安）の緊急通報に関しては硬貨は不要です。

災害はいつ何時やってくるかわかりません。これを機に、身の回りにある公衆電話を確認しておいてはいかがでしょうか。ちなみに、学外の公衆電話の位置はNTT西日本ホームページの「公衆電話設置場所検索」を利用すると便利です。

学内は3台「もしも」に備え場所確認を



図書館入り口にある公衆電話。緊急通報ボタンはありませんが、110、119、118への緊急通報の場合、硬貨やカードは必要ありません

「禁煙川柳」 3賞決まる

世界禁煙デー（5月31日）と禁煙週間（5月31日～6月6日）にちなみ、禁煙意識を高めようと学生に募った「禁煙川柳」の表彰式が4日（月）、応接室であり、学長賞、学生委員長賞、事務局長賞に選ばれた3人の学生が表彰されました。

今年は32句の応募がありました。表彰式では、竹屋元裕学長、申敏哲学生委員長、河瀬晴夫事務局長がそれぞれ選定理由を述べた後、表彰状と副賞のクオカードを手渡しました。学長賞に選ばれた看護学科1年の杉島鼓雪さんは「この句で一人でも多くの方が喫煙をやめたいと思ってもらえるとうれしいです」と喜びのコメントを寄せてくれました。（安部悠介）

受賞者は次の通りです。

▽学長賞 杉島鼓雪さん（看護学科1年）
▽学生委員長賞 藏田華帆さん（看護学科1年）
▽事務局長賞 中島布貴さん（医学検査学科1年）



<学長賞>

副流煙 みんなの笑顔 曇らせる
ゆう

<学生委員長賞>

言えないの タバコの煙 臭いって
子供より

<事務局長賞>

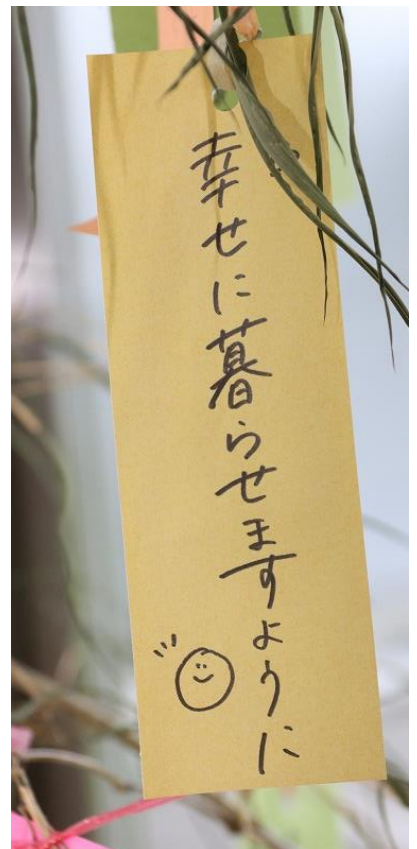
喫煙は 周りも巻き込む 自爆テロ
テディベア



短冊に願いを込めて...

学友会がシーズンプロジェクトの一環として6月27日（月）～7月8日（金）、1号館LLPC教室前と2号館3階オープンスペース、3号館入り口付近の3カ所に七夕飾りが設置されています。短冊には幸せや健康を願うものから、「単位が取れますように」とか「再試がありませんように」といった切実なものまでありました。（安部悠介）

今週の1枚



充実、久しぶりの対面開催 熊本県医学検査学会

第54回熊本県医学検査学会が6月26日（日）、熊本市の熊本城ホールで開催されました。この学会は毎年1回、熊本県下の臨床検査技師を対象に開かれており、今回は筆者が学会長を務めました。また、立石多貴子先生（医学検査学科）にも実行委員長として加わっていただきました。

以前は、ランチョンセミナーや各検査部門シンポジウムのほか、実技講習会を同時開催したこともあり、毎回、300～500人程度の技師が参集していました。しかし、2年前からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web配信を中心とした発表形式となっていました。

今回はようやく対面での発表形式（web配信も同時に実施）で開くことができました。会場来場者は100人以上、web配信視聴も常時90人程度ありました。今後、オンデマンドで一般演題を配信しますので、参加総数は300人近くに上ると思われます。

対面発表形式を久しぶりに実施し、あらためてその良さを実感しました。学会開始前あるいは休憩時のちょっとした挨拶、情報のやりとり、一般演題の質疑応答での発表者からのタイムリーな回答…。web配信も便利ではあ

りますが、対面での充実感はまだ別のものでした。

木下統晴理事長も化血研理事長として学術奨励賞の受賞式に出席してもらい、日ごろの臨床検査技師の研鑽の一部を見ていただきました。

学会開催にあたり、さまざまな病院から集まってもらった実行委員の皆さんのご尽力、また当日の本学4年次学生のお手伝いなど、多くの皆様のおかげで無事に終了しました。あらためて、感謝申し上げます。

（医学検査学科・松本珠美）



第54回熊本県医学検査学会の実行委メンバーたち

銀杏アラカルト

◆台風4号接近でオンライン授業に 台風4号の接近に伴い、7月5日（火）に予定していた対面授業は遠隔授業に切り替えられました。遠隔授業に変更できない対面

授業は休講とし、別途補講で対応することになりました。そのため、学生の大学構内への立ち入りも禁止となりました。

インフォメーション

週間行事予定（7月9日～7月15日）

7 / 10（日）

進学ガイダンスセミナー（崇城大学）